

平成29年度第1回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成29年6月23日(金曜日)林野庁入札室			
委員		前原一彦(公認会計士) 石井麦生(弁護士) 近田直裕(公認会計士、税理士)			
審議対象期間		平成29年1月1日～平成29年3月31日			
審議対象案件		12件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件		
抽出案件		4件 (抽出率 33%)	うち、1者応札案件 1件 (抽出率 100%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件 (抽出率 - %)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件	
		指名競争	公募型指名競争	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			工事希望型競争	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			その他の指名競争	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			随意契約	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
	業務	一般競争	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件	
		指名競争	公募型競争	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			簡易公募型競争	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			その他の指名競争	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			随意契約	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
		随意契約	公募型プロポーザル	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			簡易公募型プロポーザル	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
			標準型プロポーザル	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件
	その他の随意契約		- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件	
	物品・役務等	一般競争	5件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件	
		指名競争	- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件	
随意契約(企画競争・公募)		6件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件		
随意契約(その他)		- 件	うち、1者応札案件 - 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 件		
(特記事項)		・抽出の4件については、落札率が高かった契約を抽出した。			
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。)	回答等 (詳細に記述すること。)		
		(別紙のとおり)	(別紙のとおり)		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
[これらに対し部局長が講じた措置]		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin-right: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div>			

事務局: 林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>抽出契約について 〔抽出番号1：林野庁東陽宿舎1号棟内装及び給排水設備他改修工事〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札調査を実施していますが、どのような内容の調査となっているのでしょうか。 ・総合評価落札方式を採用した理由はどのようなものなのでしょうか。 ・工事は支障なく終了したのでしょうか。 ・「技術審査検討経過記録」を見ると、加算点の差が大きく、点数が低い場合は問題があるように見えますが、如何でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営状況、契約実績、契約中工事件数の施行体制や財務諸表、登記簿の全部事項証明、入札価格の積算根拠等を提出させ、契約を問題なく履行できるかを調査しています。 ・一定の予算規模以上の工事は総合評価落札方式により契約の相手方を決定することとなっています。 ・問題なく終了しています。 ・必須条件である標準点は満点となっているため、契約を履行する上で必要な技術は有ります。その上での技術力や工事实績等によって技術点が加算されますので問題はないと考えられます。
	<p>〔抽出番号2：平成28年度基本図等作成作業効率化業務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GISとは何の略でしょうか。 ・契約の目的はどのようなものでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地理情報システムのことであり、Geographic Information Systemの頭文字をとってGISとなっています。 ・地図記号及び文字記号を電子化し、それを取り込んだGISソフト及びパソコンを各9台の調達、マニュアルの作成となります。なお、地図記号については、国土地理院が定めた一般的なもの及び林野庁独自で使用している記号があり、今回新たに電子化する記号も含まれていま

<ul style="list-style-type: none"> ・入札金額を見ると入札金額が均衡していますが、この業務は特殊な技術は必要ないということでしょうか。 	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考見積から推察するとソフトウェア及びパソコンの価格は各事業者ともあまり変わりがなく、その価格が入札金額の大部分を占めていることから、入札金額が均衡しているものと考えています。
<p>〔抽出番号3：平成28年度シカによる森林被害緊急対策事業（シカの行動把握調査等及び捕獲者等支援業務）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業は最終的にはシカを駆除するのででしょうか。 ・シカにGPSを取り付けるということは、それほど難しい技術は必要ないかと思いますが、野生動物に関する事業者でなければこの事業を行う事は難しいのでしょうか。 ・この事業では何頭のシカにGPSを取り付けているのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業はシカを駆除すること自体が目的ではなく、GPSを付けたシカの行動を把握することで群れ全体の行動パターンを把握し、狩猟者等に捕獲に有効な情報を提供することで被害対策に寄与することを目的としています。 ・シカを生体捕獲しGPSを取り付ける際の麻酔銃用の技術等が必要となること、仕様上のGPSは輸入する必要があること、その調達ルート確保が必要であること等から、事業者が限られてくるかと思いますが。 ・使用しているGPSが高価なため、調査対象の8地域の地域毎に1頭付けています。シカは群れで行動するため、その1頭により群れ全体の行動パターンを把握することができます。
<p>〔抽出番号4：平成28年度CLT建築物等普及促進委託事業（新たな木質部材の標準化に係る技術的検討等）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BP材の接着剤は燃え難いものなのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BP材に限らず、一定の耐火性能が求められる建築物に利用される建材は、その耐火性能が確認された上で利用されます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業ではB P材のJAS規格を作るのでしょうか。 ・再委託先では何をしているのでしょうか。 ・B P材とC L Tは基本的に何が違うのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・J A S規格そのものではなく、規格の案をつくるものです。 ・再委託先では、J A S規格を作成するための強度データの収集、分析等を行っています。 ・B P材は、正角を積層接着して柱や梁などの軸材料として使うものです。一方、C L Tは、ひき板を直交するよう積層接着して、壁や床などの面材料として使うものです。
	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会としての意見はなし。 	